

強風の早朝佐久島レース

ちぐさの丹羽です。三河湾クルージングクラブのみなさんいつもお世話になります。

今回のレースは艇が JV96CR に替わり初めてのレースとなりました。

しかし、天は味方せずこの日はドン吹き 20~30 ノットオーバーの北西風を与えてくれました。DOILE アラミドのジブセイルナンバー3が直前の土曜日に完成してよかったです。これがなかったらこの日はとても帆走できません。ハーバーの仲間やメンバーが乗ってくれて、あのホーネットとダンシング ビーンズと帆走が競えるなんて・・・



実にありがたいことです（涙）

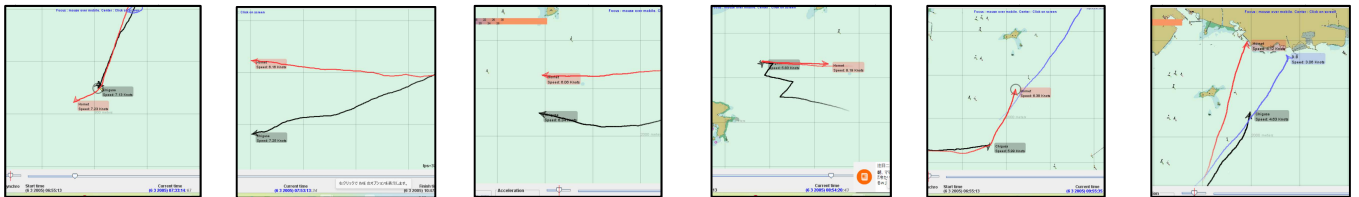
さて、レースですがいつものお約束通りスタートでトチッて行き足がなくなり出遅れ・・・（笑）

ここでもうすでに戦意消失して、大風ブローの中、泣く泣く遅れてレーススタート。

するとしばらくして小島の沖あたりでなんと、ダンシング ビーンズは 180 度方向を変えました・・・歴戦を誇る強豪艇の判断です。この決断は尊敬します。

ここでわれら、ちぐさチームもリタイヤするか続行かを迷いました。みんなはやる気満々ですが、こんな時こそ危ないのではないかと！オーナーの責任を明記するレース帆走指示書の始めの文言が頭で繰り返されます。新品のセイルが痛むし、こんな強風のレースは平均 65 歳オーバーチームには体力的にキツイし危険だ・・・でも帆走したい！この思いでダンシングビーンズを見ながら時間が過ぎていきました。何とか豊橋潮流ブイを回航しあまり離されず、ここまでは何とかホーネットに食らいつく。

しかし、次の佐久島潮流ブイの位置がわからず落としすぎて（実際は上れず）さすが、ホーネットは上りきる！われらはタックを繰り返し（泣）やっとの思いで佐久島潮流ブイを回航しました。



予報ではここで風が落ちてスピン展開のイメージでした・・・

でも、とてもこの風ではスピンは揚げられずナンバー3のまま、サーフィングしながら豊橋潮流ブイまで強風でスピードがすごい・・・ここが一番ヨットで気持ちがいいところでもあるのですが。緊張で楽しむ余裕なしです。例によってマークを回ってからでもハーバーまで上りきれず・・・タックを繰り返しフィニッシュ！



反省点はハイクアウト不足、リーフロープの甘さ、余ったセイルの固縛、バングの引き込み、風の逃がしすぎ、メイントリムのタイミングなどなど挙げたらキリがないですね。

今回の強風レースはわれらには厳しく無謀でもありました。

しかし、この経験が出来た事は素晴らしい収穫でもあったと考えています。

次は東海チャンピオンシップに出場を予定しています。成績や順位はとにかく安全に楽しく今後もレースを楽しみたいです。早朝からお世話になりました。素晴らしいレース運営と分析をありがとうございました。